

建築設計第三部
Architectural Design III

教員名	奥 俊信、松原 茂樹、木多 道宏、吉岡 聡司（よしおか さとし）、岸本 一蔵、甲谷 寿史、桑原 進、柏 尚稔、桃井 良尚、向出 静司、瀧野 敦夫、高木 恭子 [非常勤]							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	吹田キャンパス S1 棟 8 階 821 室、本部 4 階キャンパスデザイン室、S1 棟 7 階 711 (D) 室、電話：06-6879-7640、4479							
E-MAIL アドレス	oku@arch.eng.osaka-u.ac.jp、shigeki@arch.eng.osaka-u.ac.jp、kita@arch.eng.osaka-u.ac.jp、yoshioka@arch.eng.osaka-u.ac.jp、kisimoto@arch.eng.osaka-u.ac.jp、kotani@arch.eng.osaka-u.ac.jp、kuwa@arch.eng.osaka-u.ac.jp、kashiwa@arch.eng.osaka-u.ac.jp、momoi@arch.eng.osaka-u.ac.jp、mukaide@arch.eng.osaka-u.ac.jp、atsuo@arch.eng.osaka-u.ac.jp							
履修対象	建築工学コース（3 年次）							
単位	3	セメスター					5	
受講条件	建築設計第一部、第二部を履修していること。							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	建築設計第二部に引続き、機能のより複雑な建築や既存建物の機能変更による増改築の設計演習を通して建築設計能力および企画力を修練する。 建築計画各論および建築計画総論の講義と関連する。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
	○	○	○				○	◎
授業計画・概要	テーマ		概要					学習・教育目標
	第 1 課題： 建築のコンバージョン(8 回)		既存建築の持続的な活用を計るため、対象建築のデザインについて、これまでの機能、構造、設備、ならびに周辺環境の考察(包括 3 回)、これまでの構法、施工の考察(包括 2 回)を行い、それをコンバージョン建築として提案する専門的な技術と能力を習得する(高度 3 回)。					A、B、C、G、H
	第 2 課題： 木材とコンクリートの「協調」による建築デザインの提案(7 回)		大阪市準工業地域の敷地において、木材とコンクリートの「協調」をテーマとした建築の設計を行う。機能は地域再生を目的とするレンタルオフィスとホールの複合であり、地域に親和した働く環境の提案や大空間の設計も求められる(包括 3 回)。両素材の心理的・物理的な特性を生かしながら、構造、環境、構法、防火・防災などの観点からの新しい建築の在り方に取り組む(高度 4 回)。					A、C、H
教科書	日本建築学会編「コンパクト建築設計資料集成」、丸善株式会社							
参考図書・文献等	日本建築学会編「建築設計資料集成 1～10」、丸善株式会社 日本建築学会編「建築設計資料集成 [展示・芸能]」、丸善株式会社 日本建築学会編「建築設計資料集成 [集会・市民サービス]」、丸善株式会社 柏原士郎・橘英三郎編著「建築デザインと構造計画」、朝倉書店 岡田光正・柏原士郎他著「建築計画 2 [新版]」、鹿島出版会							
成績評価方法・評価基準	A、Bについては、構想案、草案、概案におけるプロセスでの意見のやりとりの評価(20%)とし、C、G、Hについては、最終提出物の評価(80%)とする。							
オフィスアワー	随時 e-mail にて対応							
コメント	定められた日程を遵守し、かつ十分な努力を払うこと。							